

2020年6月17日「Intelligent Automation を見据えたRPA全社展開の推進～UiPathを使用した実践編～」ご質問とプロティビティの回答

No.	頂いたご質問	Protiviti回答
1	RPA適用業務選定・標準化支援について、RPAの導入には業務の標準化は必ず必要となるのでしょうか。	もちろん現行手順のままでのRPA適用を行うことも可能です。しかし標準化を行うことで適用効果向上、開発工数の低減等の効率性の面でのメリットが望めることが多いのでお勧めしています。 また業務可視化で作成した手順書、いわゆるSOP（Standard Of Procedure）を継続改善していくことはRPAに限らず、個人や企業全体の業務プロセスが明確になり、属人性を排除できるようになるので組織のガバナンス面で効果が期待できます。
2	想定されるRPAのリスクについて、「ダウンストリームアプリケーションの過負荷」とはいったいどのような状況を示すものなのでしょうか。	RPAは基本的には人間がパソコン上で行う操作をルールベースで再現するソリューションですが、その操作スピードは人間の数倍の速さになることが一般的です。 そのため操作をされる側のアプリケーションの処理能力が低い場合や不安定である場合は画面の表示処理等が追いつかない等の問題が想定されます。こういったケースではアプリケーション画面がすべて読み込まれるまでRPAの処理を止める等、「ロボットの処理を人間の処理スピードに合わせる」という対応を行います。
3	Studio側のCoEが日本本社、Studio X側のユーザーが海外子会社で、基幹システムが繋がっていない場合、必要となる要件は何でしょうか。	こちらは「RPA管理サーバでの実行」と「基幹システムに繋がっていない場合のロボット開発方法」の2つの面でのご質問と認識いたしました。 「RPA管理サーバでの実行」についてですがStudioで作成されたロボット、Studio Xで作成されたロボットとともに同じRPA管理サーバ（Orchestrator）での稼働は可能となります。 「基幹システムに繋がっていない場合のロボット開発方法」では、基幹システムを直接操作するロボットの開発は基幹システムにアクセス可能な組織（仮に日本本社CoE）でのみ可能となります。 海外子会社側で作成するのは基幹システムへの登録情報inputファイルの作成までとして、そのinputファイルをもとに日本本社CoEにて基幹システムに登録するロボットを作成するというプロセスにするとよいかと思えます。
4	Xでは、文字列入力時””（アポストロフ）で括らなくてもいいのですか。	はい、StudioXでは””なしで直接入力する仕様になっております。